

石神井高齢者相談センター 地域ケア個別会議 取組状況と課題

主催・日時・会場	主な参加者・数	テーマ	検討事項	検討結果	把握された課題
練馬ゆめの木支所 平成28年10月13日(木) 14:00~15:30 石神井庁舎5階	町会、民生委員、訪問介護事業所、飲食店・カフェ、動物病院、生活衛生課、大泉ボランティアセンター、介護支援専門員、高齢者相談センター本所、支所計 10名	猫をたくさん世話する高齢者を通して地域を考える	・なぜ猫をたくさん飼うのかを関係者間で考える。 ・災害時等も含めて、多頭飼育をする方に地域でできる支援について検討する。	・独居による寂しさから、猫と関わり、飼うというよりは増やしてしまうなど、猫を多数飼う方の現状が確認された。 ・関係者間で地域課題の共有や解決に向けたネットワークづくり、人材を地域でどのように育成するか等について検討できた。	・地域課題の共有や解決に向け、地域住民、町会や老人会、民生委員等と動物に関する関係機関、高齢者相談センターとのさらなる連携が必要である。 ・猫の去勢や避妊、個体識別など、「飼うルール」のさらなる周知が必要である。
富士見台支所 平成28年11月24日(木) 14:00~15:30 谷原出張所コミュニティ室	家族、近隣住民、介護支援専門員、通所介護、家族の計画作成担当、家族の作業所職員、高齢者相談センター本所、支所計 9名	障がいをお持ちのご家族と同居する高齢者の支援	・今後、想定される「心配事」を関係者間で共有し、支援が必要となるときに必要なサービスを受けられるよう今から備えるための課題を検討する。	・認知症については早期発見が必要であるとともに、困ったときにすぐに相談できるよう、地域住民と障害者、高齢者が顔のみえる関係を構築し、つながりあえることの大切さが確認できた。 ・周囲が家族（障害者や高齢者）の状況を見守り、病気の進行や異変に察知できる支援体制を築くことが必要ということが確認された。	・地域の中で高齢者を支援するときには、住民を中心に、高齢、障害者、児童、貧困などすべての分野で支援する関係者がつながり合うことが重要である。 ・地域ケア個別会議を重ね、地域の中で顔のみえる関係や共通の制度理解を進めることを通じて、地域の人達を支える仕組みづくりを行っていく必要がある。
石神井支所 平成28年8月26日(金) 10:00~12:00 石神井庁舎会議室	主任介護支援専門員、薬剤師、社会福祉協議会、司法書士、介護サービス事業所、障害者支援係、高齢者相談センター本所、支所計 18名	難病のひとり暮らしの利用者を、将来の不安を解消しながらどのように支えるか	・側弯症、脊柱管狭窄症による日常生活の支障に対する手立てについて検討する。 ・本人の困りごとを確認し本人、親族の出来ることや、任意後見、法定後見について検討する。	・専門職の参加者から、それぞれの視点で情報提供やアドバイスがいただけたことで、対象者の支援の方法や支援の方向性が確認できた。 ・在宅生活維持の方法について、専門職間で今後の食の確保や薬の管理など、課題解決の実現に向けた具体的な検討が進んだ。	・病院では24時間対応のため服薬管理や生活リズムは整えられるが、在宅に戻るとリスクが高くなるため、退院後の服薬管理や生活への支援が必要である。 ・若くして難病や障害を負った方に対する集いの場所の確保が必要である。
フローラ石神井公園支所 平成28年9月15日(木) 14:00~15:40 石神井庁舎会議室	民生委員、介護支援専門員、訪問看護、便利屋、地域活動員、小規模多機能型居宅介護、高齢者相談センター本所、支所計 11名	ゴミ屋敷の事例を通じて支援方法について考える	・地域でゴミ屋敷の問題が発生しないために、どのようにすればよいか検討する。 ・参加者でゴミ屋敷に関する情報共有を図るとともに、その特徴等について意見を出してもらう。	・関係者間で情報共有ができ、今後の課題や問題点についても明確化され、チームとして連携して取り組むことが確認できた。 ・今回の会議を通じて 参加者の方々の間で今後地域の目とさせていただくことの必要性について共有され、早期発見、の意識付けになった。	・ゴミ、衛生問題は外からは分かりづらいため、未だに埋もれているケースがある。早期発見のためには地域の見守りネットワークづくりが必要である。 ・発見された事例に対する地域での支え合いの仕組みも必要であるとともに、関係機関が連携してひとり暮らし高齢者のゴミ問題を支援する地域づくりが求められる。
第二光陽苑支所 平成28年5月27日(金) 10:00~11:30 石神井台地域集会所	民生委員、介護支援専門員、通所介護、グループホーム、高齢者相談センター本所、支所計 9名	ひとり暮らし高齢者が安全・安心して楽しく買い物するために	・ひとり暮らし高齢者のスーパーでの買い物やバスの利用、消費者被害等について参加者で協議する。 ・高齢者にとっての商店街のあり方について検討する。	・商店街に関することについては、高齢者相談センターや介護サービス事業者などが、店舗側のスタッフとまずは顔見知りになり、気軽に相談できる関係作づくりの必要性が確認された。 ・地域ケア個別会議を通じて、地域の高齢者が安心・安全に買い物ができる環境と地域資源の開発を進めるとともに、新たな課題が挙げれば、都度個別ケア会議を継続していくことが検討された。	・今回の会議の内容を各商店の担当者（エリアマネージャー等）や地域のコンビニエンスストアにフィードバックし、次回の会議参加を促す必要がある。 ・消費者被害の実態を共有し、有効な対策や啓発手段を協議するために、消費生活センターや警察署とも情報共有する場が必要である。
関町支所 平成28年12月15日(木) 10:00~11:30 関保健相談所	民生委員、近隣住民、石神井清掃事務所、関保健相談所、高齢者相談センター本所、支所計 12名	精神疾患のある方への関わり方、見守りについて	・精神疾患のある方への関わり方、見守り方について、関係者間で検討する。 ・地域でどのような支援が可能か検討する。	・事例対象者の生活状況や、民生委員や保健師による家族からの困っている状況の聞き取りにより、家族から「助けてほしいけど、何を助けてもらえばよいか分からない」といった思いがあることなど、関係者間での情報共有が進んだ。 ・事例対象者の家族など精神疾患のある方との窓口になれる人が確認でき、今回の会議を通して家族との接触の糸口がつかめた。	・今後は精神疾患のある本人だけでなく、家族にも焦点をあてながら、地域でどのような支援が可能か検討する必要がある。 ・具体的な支援策が見つかり次第、すぐに家族に対し対応策を提案する必要がある。

<p>上石神井支所 平成28年8月19日(金) 14:00~15:30 上石神井地域集会場</p>	<p>民生委員、介護支援専門員、敬老館館長、訪問看護、訪問入浴、高齢者相談センター本所、支所 計 19名</p>	<p>支所併設敬老館を利用する高齢者への連携と支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老館と高齢者相談センター支所とのネットワークの構築を図る。 ・民生委員の活動を知り、高齢者相談センター支所との連携について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の会議において、敬老館と高齢者相談センターとの連携の重要性について再確認できた。 ・上石神井地域には、銭湯が無く、敬老館での入浴サービスが、独居高齢者や安全に入浴したい高齢者の重要なサービスとなっていることが確認できた。 ・民生委員の活動について、関係者間での情報共有が進んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老館の存在をまだ知らない高齢者の方々に、これからも地域の安全な居場所として、支所活動の中で周知していく必要がある。 ・敬老館にて行われる介護予防体操や、区の健康長寿若返り教室、よりあいひろば事業などを通して、敬老館や高齢者相談センター支所のさらなる周知を図る必要がある。
---	--	-------------------------------	---	--	--